

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 8 日現在

機関番号：32665

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2016

課題番号：26630278

研究課題名(和文) シノワズリの逆輸入と地域アイデンティティ - 中国上海・広州の水を活かした空間計画 -

研究課題名(英文) Reverse Import of Chinoiserie and Local Identity: Spatial planning utilized water environment in Shanghai and Guangzhou, China

研究代表者

栗原 伸治 (KURIHARA, Shinji)

日本大学・生物資源科学部・准教授

研究者番号：60318384

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題では、17c半ば～18cにヨーロッパで大流行し、近年の中国上海や広州の水を活かした空間計画においても顕著にみられる「中国的」様式、シノワズリへの嗜好に着目して、その概念と認識について地域アイデンティティという文脈から考察した。まずは、学術論文、学術図書をもとに、学術用語としての「本来」の意味での概念と認識を把握した。つぎに、観光ガイドブックにより、「創出」された意味での概念と認識を把握した。そのうえで、地域アイデンティティという文脈から両者の比較考察をした。さらに、香港、マカオも対象として、「香港らしさ」「マカオらしさ」という観点もふまえた考察をした。

研究成果の概要(英文)：Chinoiserie refers to trends in Chinese art that swept through Europe in the mid-to-late 17th and 18th centuries. And recently, we can frequently see the spatial planning utilized water environment in Shanghai or Guangzhou, China. The purpose of this study is to consider the notion and awareness of Chinoiserie from the context of local identity. Firstly, we examined the notion and awareness of Chinoiserie, in its classic sense, as used in modern Japanese academic discourse. Secondly, we also examined the notion and awareness of Chinoiserie, in its reinvented sense, from guidebooks on China. And then, we compared the results of the two analyses. Finally, we focus on Hong Kong and Macau, and consider the notion and awareness of Chinoiserie there, including the viewpoint of "Hong Kong touch" and "Macau touch".

研究分野：建築人類学

キーワード：中国趣味 概念 認識 形容詞 空間表象 文化表象 香港 マカオ

1. 研究開始当初の背景

シノワズリ (chinoiserie) とは、17 世紀半ば～18 世紀にヨーロッパで大流行した中国趣味のことをさす。それは「ヨーロッパ人が抱いた理想的帝国『キャセイ』の伝説に基づく中国幻想の表現」<sup>注1)</sup>、「輸入された産物からの衝撃や噂話に基づくヨーロッパ人の東洋観の表明」<sup>注2)</sup>のことであり、近世の「ヨーロッパ内的な現象」<sup>注3)</sup>と捉えられている。ところが近年、「シノワズリに十分な商品価値が見いだされ、それに積極的な演出が施され」<sup>注4)</sup>て、シノワズリの「現代的」アレンジ、つまりヨーロッパの「中国的」様式の再アレンジが東アジアにおいてみられるようになった。時間軸・空間軸を超えた、いわば二重の意味で逆輸入されたシノワズリのデザインの流行がみられるようになったのである。これらは、近年の中国上海や広州の水を活かした空間計画においても顕著にみられる。

2. 研究の目的

これらはまた、近年とくに日本で販売されている中国の観光ガイドブックのなかでも、とりわけ上海や広州を対象としたもので、「シノワズリな時間が流れる」<sup>注5)</sup>、「シノワズリ雑貨に夢中」「フレンチシノワを感じる洒脱なインテリア雑貨」「シノワでかわいいお店」「シノかわ」<sup>注6)</sup>などの表現とともに散見される。香港・マカオにおいても同様の動きみられるが、香港・マカオでは、両地域の複雑な歴史に関連した地域アイデンティティも背後に見え隠れしている。

本研究の目的は、このようなシノワズリの現代日本における学術用語としての「本来」の意味での概念と認識、および「創出」された意味での概念と認識について、文献をもとに読んでゆくことにある。そして、両者の比較考察をおこない、さらにはこのような視点から、香港・マカオにおける現況についても整理をおこなう。

3. 研究の方法

そのために、まずは、シノワズリに関する文献 (学術論文、学術図書) を収集し、シノワズリの概念に関する記述を抽出・整理して、学術用語としての「本来」の意味での概念と認識について考察する。つづいて、観光ガイドブックを選出し、そこからシノワズリをめぐる記述を抽出・整理して、「創出」された意味での概念と認識について考察する。そのうえで、両者の比較考察をおこなう。さらには、このような視点から、香港・マカオのシノワズリをめぐる現況についても、現地調査をもとにした解釈をおこなってゆく。

4. 研究成果

(1) 学術用語としてのシノワズリの概念と認識：「本来」の意味

ここでは、シノワズリが現代日本においてどのように捉えられているのか、その概念と構成要素について文献をもとに読んでいった。まずは、シノワズリに関する文献を収集し、シノワズリの概念に関する記述を抽出・整理した。つぎに、それらを集計し、シノワズリの概念について分析した。さらに、抽出した記述をもとに、その構成要素のつながりについても分析をおこなった。

① シノワズリの概念に関する記述の抽出と整理

国立情報学研究所の学術情報データベース CiNii において、「シノワズリ」というキーワードで検索をおこなった。「論文検索」では 21 本、「全文検索」では 81 本がヒットした (2014. 11. 17 現在)。「論文検索」より出てきた論文 21 本のうちの 18 本と「全文検索」での論文 81 本のうちの 16 本を選出して<sup>注7)</sup>、それらの本文から「シノワズリ」がふくまれた文、その前後の文、シノワズリをうけた指示詞の文を抽出した。

結果、計 247 の文が抽出でき、抽出した文で書かれている「時代」(~17c 前半、17c 後半、18c 前半、18c 後半、19c~)、「国・地域」

表1 シノワズリに関する記述の一覧表 (一部抜粋)

No.	文献No.	P.	記述	時代	国・地域	対象
1-1	10	3	往時は、中国風庭園、家具、陶器、織物、衣裳など、アジア風のデザインが流行し、様々な事象にシノワズリーの影響がみられ、インド製の木板擦染や手描き更紗とともに、アジアから舶載された絹織の「シネ」は珍重され、フランスのみならず、欧州各国に染織技法とともにその紋様表現は、伝播してゆく。	18c前半	フランス	庭園 家具・インテリア 陶磁器 織物 衣裳
1-2	10	3	18世紀になると絹は、需要の拡大とともに発展し、宮廷女性衣裳の生地としてフランスで盛んに織られるようになった。	18c前半	フランス	織物
1-3	10	3	また、一方、シノワズリーが流行し、中国、インド、トルコなどアジアの織物も珍重され、欧州で製作される織物にも影響を与えた。	18c前半	フランス	織物
1-4	10	10	17世紀の欧州では、東インド会社を通じて、インド、中国などから、アジアの陶器や漆の工芸品が運ばれ、17世紀の後半から18世紀には、シノワズリーが流行していた。	17c後半	西洋	陶磁器
1-5	10	10	服飾にも、その影響は顕著にみられ、インドの木板擦染や手描きの更紗が、貴族や豪商などの富裕市民の夫人の衣裳として珍重されていた。	17c後半	西洋	衣裳
1-6	10	10	その中でも「絹」は、手間のかかる特別な織物であり「シネ」と呼称され、宮廷婦人は、競ってそれを求めていた。	17c後半	西洋	織物
2-1	12	38	執筆の背景には、ヨーロッパで流行した「シノワズリー」の影響が認められる。「シノワズリー」とは「中国趣味」を意味し、17世紀半ばのヨーロッパで生まれた美術様式を指す。	17c後半	西洋	美術様式全般
2-2	12	38	ヨーロッパの貴族階級を中心に広まった中国の陶磁器などから、その図案を模した中国風のデザインが流行していき、次第に後期バロック様式やロココ様式などと融合し、陶磁器だけでなく、建築や庭園など広く諸芸術にみられる様式となっていく。	17c後半	西洋	陶磁器 建築 庭園
2-3	12	38	中国から伝わった様式というよりは、ヨーロッパの生み出した想像上の中国がモチーフとなっており、独特の装飾性やデザイン性を特徴とする。	17c後半	西洋	美術様式全般

※ 表中の文献 No.10 は末尾にあげた引用文献の文献 7)を、文献 No.12 は文献 8)をさす

(イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、デンマーク、スウェーデン、オランダ、日本、中国、西洋)、「対象」(建築、家具・インテリア、庭園、陶磁器、絵画、織物、衣裳、美術様式全般)について整理をして一覧表を作成した(表1)。

## ② シノワズリの概念とその構成要素

一覧表をもとに、時代、国・地域、対象のそれぞれの項目を単純集計した。その結果、以下の傾向が読みとれた。時代については、17c が黎明期、18c に大流行し、とくに 18c 後半が最盛期、その後は下火になっていった。国・地域では、西洋全体に関するものがもっとも多くみられ(41.2%)、国別ではイギリス(31.9%)、フランス(14.7%)、ドイツ(5.5%)という順であった。対象では、家具・インテリア(26.2%)がもっとも多く、つづいて美術様式全般(19.2%)、陶磁器(19.2%)、建築(15.3%)、庭園(8.6%)という順であった。

また、時代、国・地域、対象のそれぞれのクロス集計もおこなった。その結果からは、以下のことが読みとれた。フランスでは早くから流行し(17c 前半～)、イギリスでは 18c (とくに 18c 後半)を中心に大流行した。家具・インテリアは、各国・各地域で広くみられた。とくにイギリスで多く(38.6%)、イギリスでは陶磁器(22.9%)、庭園(21.4%)も多かった。いっぽう、西洋全体では美術様式全般がもっとも多かった(51.1%)。家具・インテリア、陶磁器の流行は早くからみられ、建築、庭園は遅れて流行した(18c 後半以降のもの、建築では 16/25、庭園では 12/19)。

抽出した 247 の文に対して、テキストマイニングにより構成要素のつながりを分析<sup>注8)</sup>した。結果(図1の小さな文字の部分)、家具インテリアを中心として、建築、美術、織物を核に広がりを見せた。建築はイギリスとのつながりが強く、イギリスはさらに家具や庭園、風景などとのつながりもみられた。美術からは日本やジャポニズムとのつながり、織物からはフランス、インド、アジアとのつながりもうかがえた。

## (2) 観光ガイドブックにみるシノワズリの概念と認識：「創出」された意味

(1) では、学術用語としての「本来」の意味でのシノワズリの概念と認識について分析した。これに対し、ここでは現代日本の観光ガイドブックでみられる「シノワズリ」をめぐる表現<sup>注9)</sup>から、「創出」された意味でのシノワズリの概念と認識について分析した。まずは、対象文献(観光ガイドブック)を選出し、そこからシノワズリをめぐる記述とそれと親和性のある形容詞や写真を抽出・整理して、一覧表を作成した。つぎに、一覧表をもとに、シノワズリの概念について分析した。また、その記述と親和性のある形容詞や写真から、シノワズリに対する認識についても分析した。さらに、これらの結果を考慮しつつ、ここ5年のシノワズリの概念・

認識の変化についても考察した。

## ① 対象文献の選出と記述の抽出・整理、一覧表の作成

ネット書店の売上ランキング上位3社(Amazon、楽天ブックス、セブンネット)それぞれで「上海(広州)×ガイドブック、観光、ガイド」をキーワードに検索し、対象文献を選出した<sup>注10)</sup>。上海では計21種37冊、広州では計2種4冊の計23種41冊が選出できた。うち最新版以外はすべて絶版になっていたため、各種の最新版(上海15冊、広州2冊)に、5年前に出版されたガイドブック1冊をくわえ<sup>注11)</sup>、対象文献18冊を選出した。

これらを対象に、シノワズリという語がある記述(語、句、一文)を抽出し、その記述に関するテーマ、エリア、対象、一緒に掲載されている写真、同ページにみられる形容詞も抽出した。結果、上海のガイドブック計9冊から計98の記述が抽出できた。これらを整理して、表1同様の一覧表を作成した。

## ② シノワズリの概念と認識

この一覧表をもとに、シノワズリの概念について集計・分析をした。対象では雑貨(87.5%)が圧倒的に多く、写真でも雑貨(55.6%)と家具・インテリア(24.0%)が多かった。これらに関連して、テーマでは、買う(60.2%)が多かった。エリアでは、旧フランス租界(76.9%)がもっとも多く、ついで外灘(13.8%)が多かった。なお、ここでの旧フランス租界には、エリアで抽出できた新天地、衡山路、田子坊、淮海、東平路もふくまれる。

また、形容詞をもとにシノワズリに対する認識についても分析した。記述のなかには、「シノかわ」や「モダンなシノワアイテム」など、シノワズリという語に形容詞がつく場合もある。これらの形容詞を抽出して、シノワズリという語がある記述、記述がある一まとまりの文章、記述がある見開き2ページの見出しからも形容詞を抽出した。結果、計122の形容詞が抽出でき、それらをレトロ、モダン、かわいい、ビビット、おしゃれ、その他の6つに分類した。これらのなかでは、レトロ(24.6%)、モダン(23.0%)、かわいい(22.1%)に関する形容詞が多くみられた。

## ③ シノワズリの概念・認識の変化：

### 『るるぶ上海』2010年版と2014年版の比較

上記の一覧表と同様に『るるぶ上海』2010年版<sup>注12)</sup>と2014年版<sup>注13)</sup>から抽出した結果を比較すると、形容詞の数は35(2010年版)から23(2014年版)に減っている。しかしながら、形容詞とともにある写真の種類は、レトロが2種から3種、モダンが1種から2種、かわいいでは2種から4種に増えており、シノワズリの概念・認識が多様になったことがうかがえる。また、ページ数は9から6、記述数は14から11に減っているが、1ページあたりの記述数は平均1.56から平均1.83と増加している。これは、シノワズリが特集

などに組まれて、関連した記述が集められたためと考えられる。テーマでは、2010年版が観光(7)、買う(7)であったのに対し、2014年版では観光(1)、買う(5)、食べる(5)となっており、雑貨に集中して使われていたシノワズリという表現が、レストランの家具・インテリアなどが創り出す空間やその雰囲気に対して使われるようになったことがうかがえる。

### (3) 比較考察：シノワズリの概念と構成要素にみる共通点と相違点

学術用語としてのシノワズリの概念の構成要素((1))と、「創出」された意味でのシノワズリの概念の構成要素((2))を比較した。その結果、現在日本における観光という文脈においては、以下のような変化がみられた(図1)。

もっとも多かった対象は、陶磁器(19.3%)から雑貨(87.0%)へと大幅に増加し、また建築(15.3%)、家具・インテリア(26.2%)、庭園(8.6%)の計50.1%は9.0%(建築のみ)へと大きく減少した。形容詞については、ロココ、装飾的なものからレトロ、モダン・シンプルなものへと変化した。そのいっぽうで、エリアについては、旧イギリス租界から旧共同租界になった外滩と旧フランス租界(含新天地、衡山路、田子坊、淮海、東平路)で多かったことは、西洋全体、イギリス、フランスで多いという(2)の結果に相通するものであった。

### (4) 香港・マカオのシノワズリをめぐる現況

(3)で明らかにした「本来」の意味でのシノワズリから「創出」された意味でのシノワズリへの変化をふまえて、後者をとくに「シノワズリ的」と表現することにする。「2.研究目的」で述べたように、シノワズリとは近世の「ヨーロッパ内的な現象」<sup>注3)</sup>である。いっぽうの「シノワズリ的」なるものとは、日本をはじめとする東アジアにおいて近年、とくにみられるようになったシノワズリの「現代的」アレンジ、つまりヨーロッパの「中国的」様式の再アレンジのことであり、いわば二重の意味で逆輸入されたシノワズリの

デザインのことである。すなわち、近世の「ヨーロッパ内的な現象」に対して、現代の「中国内的な現象」と捉えることができる<sup>注14)</sup>。そのため、この現代の「中国内的な現象」としての「シノワズリ的」なるものについては、上海、広州では、これまでみてきたような対象において「ヨーロッパ的」な視点と「中国的」な視点の双方を分析概念とした整理ができる。これに対し、同様に近代以降、異文化との接触がさかんで、現在特別行政区になっている香港・マカオでも各種各様の「シノワズリ的」なるものがみられるが、すこし事情がことなる。香港・マカオについては、これらにくわえ、歴史的背景から生じた両地域の複雑な地域アイデンティティとも相通じる「イギリス的」なるもの、「ポルトガルの」なるもの、そしてそれらによって創出された「香港らしさ」、「マカオらしさ」という観点もふまえた整理をしなければならない。

### (5) まとめと展望

以上のように、本研究では、近年の中国においてみられる時間軸と空間軸を超えた「シノワズリの二重の意味での逆輸入」に着目した。そして、現代日本におけるシノワズリの学術用語としての「本来」の意味での概念と認識、および「創出」された意味としての概念と認識について、文献をもとに読んでいった。そのうえで、両者の概念と構成要素に関して、比較考察をおこなった。さらに、香港・マカオのシノワズリをめぐる現況についても、現地調査をもとにした解釈をおこなった。

日本で散見されるようになったシノワズリという語も中国に逆輸入されたのか、中国においても<中国趣味>という、これまでは使用されてこなかった語が近年みられるようになった<sup>注15)</sup>。また、近世ヨーロッパにおけるシノワズリの流行と同様に、「シノワズリの二重の意味での逆輸入」がなされている現代中国においても今後、建築や庭園を対象としたシノワズリのデザインが遅れて流行しそうな気運がうかがえる(写真1)。

このような現状をかんがみれば、本研究の成果および成果をもとにした整理の仕方は、そのときの空間計画に際する基礎的資料に

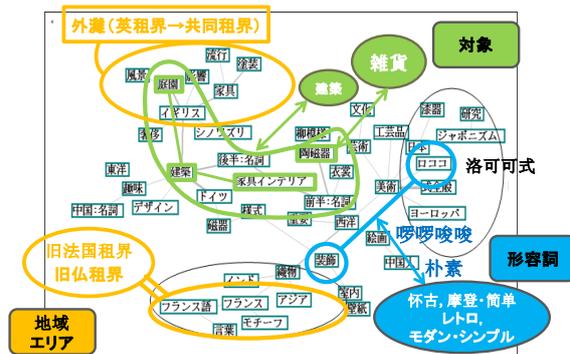


図1 学術論文・図書と観光ガイドブックにおけるシノワズリの概念・認識



写真1 上海郊外でみられる水を活かした「シノワズリ的」な空間デザイン

なり得ると期待できる。また、「シノワズリ  
的」なるものの背後に、歴史的背景によって  
生成された複雑な地域アイデンティティが  
垣間見られる香港・マカオにおいても、本研  
究の視点と方法の応用が期待できる。

<注>

- 注1) 文献1) p. 1, pp. 7-8より引用。ただし、  
ここでの日本語訳の表現は文献3)  
p. 60より引用。
- 注2) 文献2) pp. 9-10より引用。ただし、こ  
こでの日本語訳の表現は文献3) p. 60  
より引用。
- 注3) 文献3) p. 60より引用。
- 注4) 文献4) p. 22より引用。なお、同文献  
の同ページでは、「上海では1990年代  
以降」にこのような動きがみられるよ  
うになったとも書かれている。
- 注5) 文献5) p. 7より引用。
- 注6) 文献6) pp. 76-79より引用。
- 注7) タイトルもしくはアブストラクトに、  
以下の用語がふくまれていることを基  
準に選出した:シノワズリ、中国趣味、  
支那趣味、東洋趣味、ロココ趣味、中  
国観、空間、建築、庭園、ガーデニン  
グ、家具、インテリア。
- 注8) Excel のアドインソフト「トレンドサ  
ーチ」(株富士通ソフトウェア生産技術  
研究所)をもちいて分析した。
- 注9) ここでいう「表現」とは、後述するよ  
うに、「シノワズリ」という語がある記  
述(語、句、一文)、およびそれらとい  
っしょに掲載されている写真をまとめ  
てさすものとする。
- 注10) 2010年以降で、書名に「上海(広州)」  
とつくものにしぼった。ただし、「水泳」  
「会話」などがつくものとKindle版は  
除いた。
- 注11) 文献12)をくわえた。
- 注12) 文献12)を参照。
- 注13) 文献13)を参照。
- 注14) シノワズリという表現が散見される  
現代日本に視点を移せば、「中国内的な  
現象」に対する「東アジア内的な現象」  
と広げた解釈もできよう。
- 注15) たとえば、文献15)を参照。

<引用文献>

- 1) Hugh Honour *Chinoiserie*. Icon Editions  
Harper & Row, Publishers New York. The  
Vision of Cathay, 1973(1961)
- 2) Oliver Impey, Charles Seribner's Sons  
New York, *Chinoiserie: The Impact of  
Oriental Styles on Western Art and  
Decoration*, 1977
- 3) 鈴木裕子、イギリスかする「中国風」: 名  
誉革命から18世紀半ばのイギリス家具に  
見るシノワズリ、東京大学大学院総合文  
化研究科地域文化研究専攻紀要 年報地  
域文化研究、第17号、2014、41-67

- 4) 岩間一弘、大衆化するシノワズリー日本  
人旅行者の上海イメージと上海の観光都  
市化ー、現代中国 87<特集:中国社会  
とメディア・コミュニケーション>、2013、  
17-32
- 5) The Airport Limousine Group、リバーフ  
ィールド社、via Vol. 35 No. 1 2014 Winter  
January-March、2014
- 6) JTBパブリッシング、るるぶ上海(るるぶ  
情報版海外 A5Asia)、2014
- 7) 伊豆原月絵、18世紀フランス宮廷衣裳の  
織物の復元に関する研究: シネの技術、  
大阪樟蔭女子大学紀要、第2巻、2012、  
3-14
- 8) 平岡正明、談誌「鉄拐」と山の手の支那  
趣味(シノワズリ)、公評、46(1)、2009、  
72-79
- 9) Amazon: <http://www.amazon.co.jp/>  
(参照2015.11.15)。
- 10) 楽天ブックス:  
<http://books.rakuten.co.jp/>  
(参照2015.11.15)。
- 11) セブンネット:  
<http://7net.omni7.jp/top/>  
(参照2015.11.15)。
- 12) ジェイティビィパブリッシング、るるぶ  
上海'10、2009
- 13) ジェイティビィパブリッシング、るるぶ  
上海、2014
- 14) ジェイティビィパブリッシング、上海  
(タビトモ)、2014
- 15) 蘇山(編著)、北京工業出版社、中国趣  
味建築文化、2013
- 16) 栗原伸治、小山航、現代日本の文献から  
読むシノワズリの概念とその構成要素、  
日本建築学会 2015年度大会(関東)学  
術講演梗概集(農村計画)、2015、167-168。
- 17) 栗原伸治、小山航、現代日本の観光ガイ  
ドブックにみるシノワズリの概念と認識、  
日本建築学会 2016年度大会(九州)学  
術講演梗概集(農村計画)、2016、7-8。
- 18) Shinji KURIHARA, *The Notion and  
Awareness of Chinoiserie in  
Present-day Japan: How is Chinoiserie,  
in its classic sense, used as an  
academic term? How is Chinoiserie, in  
its reinvented sense, used in tourism  
guidebooks?*、農村計画学会誌、35巻4号、  
2017、546-549

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計3件)

- ① Shinji KURIHARA、*The Notion and  
Awareness of Chinoiserie in  
Present-day Japan: How is Chinoiserie,  
in its classic sense, used as an  
academic term? How is Chinoiserie, in  
its reinvented sense, used in tourism  
guidebooks?*、農村計画学会誌、査読無、  
35巻4号、2017、546-549

- ② 栗原伸治、建築人類学 2.1—中国黄土高原における窑洞の住居観・建築観をもとにした一考察、物質文化、査読有、96号、2016、1-13
- ③ 栗原伸治、中国映画『胡同のひまわり』から読む四合院住居の中庭空間表象とその意味の変遷、日本建築学会技術報告集、査読有、第21巻第48号、2015、725-730

[学会発表] (計5件)

- ① Yifei PEI, Naoko SAIO, Yingtao QI, The comparative analysis of traditional village preservation system in-between Japan and China、農村計画学会 2017 年度春期大会学術研究発表会、2017 年 4 月 15 日、東京大学農学部弥生講堂 (東京都文京区)
- ② 栗原伸治、現代日本におけるシノワズリ  
の概念と認識—学術用語としての「本来」  
の意味と観光ガイドブックにみる「創出」  
された意味 (現代日本的 “chinoiserie”  
の概念と認識—作为学术用语的“原来”  
的意思以及在旅游指南书中的被“创出”  
的意思)、農村計画学会+中国城市規劃学  
会郷村規劃建設委員会 日中農村計画交  
流セミナー、2016 年 10 月 7 日、キャン  
パスプラザ京都 (京都市下京区)
- ③ 栗原伸治、小山航、現代日本の観光ガイ  
ドブックにみるシノワズリの概念と認識、  
2016 年度日本建築学会大会 (九州) 学術  
講演梗概集 (農村計画)、2016 年 8 月 24  
日、福岡大学 (福岡市城南区)
- ④ 齊応涛、斎尾直子、松岡拓公雄、中国伝  
統村落の保全に関する研究、陝西省靈泉  
村を事例として、農村計画学会 2016 年度  
春期大会学術研究発表会、2016 年 4 月 9  
日、東京大学農学部弥生講堂 (東京都文  
京区)、※2016 年度農村計画学会ポス  
ター賞受賞
- ⑤ 栗原伸治、小山航、現代日本の文献から  
読むシノワズリの概念とその構成要素、  
2015 年度日本建築学会大会 (関東) 学術  
講演梗概集 (農村計画)、2015 年 9 月 6  
日、東海大学 (神奈川県平塚市)

[図書] (計3件)

- ① 栗原伸治、世界思想社、「奇妙な居住空間  
での／への「あたりまえ」な態度—中国  
の空間を媒介とした社会・文化的集団、  
藤木庸介(編)『住まいがたえる世界の  
くらし—今日の居住文化誌』、2016、212  
(83-100, 208)
- ② 栗原伸治、龍溪書舎、中国黔東南におけ  
る侗族・苗族の居住空間・文化とエコツ  
ーリズムにともなうその表象、RRIAP  
(Regional Research Institute of  
Agricultural Production) 日本大学生物  
資源科学部国際地域研究所『野生生物の  
利用管理—フードシステム・エコツーリ  
ズム・エコビレッジの観点から—』(日本

大学生物資源科学部国際地域研究所叢書  
②)、2015、223 (89-117)

- ③ 栗原伸治、丸善出版社、住とアイデンテ  
ィティ、国立民族学博物館(編)『世界民  
族百科事典』、2014、789 (58-59)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

栗原 伸治 (KURIHARA, Shinji)  
日本大学・生物資源科学部・准教授  
研究者番号：60318384

### (2) 研究分担者

斎尾 直子 (SAIO, Naoko)  
東京工業大学・環境・社会理工学院  
・准教授  
研究者番号：80282862